

■(初代)安本亀八 人形師。維新の廃仏毀釈で仏師の仕事失って転換し、一世を風靡。文化人としての評価も高かった。  
やすもとかめはち  
.....1826= 熊本迎宝町で、仏師の家系に生まれる。

滑稽+人情本 1835= 9歳 :

大塩平八郎乱1837=11歳 :

天保改革終・1844=18歳 :

阿部正弘首座1845=19歳 :

ペリー来航・1853=27歳 :

桜田門外変・1860=34歳 :

その道を志して励んできたが、

生麦事件・1862=36歳 :

明治維新・1868=42歳 :

\*明治維新後、廃仏毀釈運動の影響で仏師としての仕事が無くなったため、人形細工師として身をたてることを決意、活人形師として兄と共に上方へ出て初興行を行う。最大の出し物は、生身の人間の姿をそのままに造った“活人形”で、その造形は精緻で、生きているかのようなリアリティが評判になった。

廃藩置県・1871=45歳 :

東京で興行した「忠臣蔵」などの演目は庶民に大人気を博し、

明治6年政変 1873=47歳 :

初の民間工場1875=49歳 :

上海で興行を行い、海外へ進出。

西南戦争・1877=51歳 :

\*内国勲業博覧会に等身大の美貌の活人形を出展、世間を驚かせ人気を集める。当時の日本では活人形師として松本喜三郎とはその技量と人気で双壁を争ったという。

.....1880=54歳 :

内務省博物館開設の{観古美術会}創設に参加、審査員をつとめる。

明治14年政変1881=55歳 :

帝国憲法発布1889=63歳 :

帝国議会始・1890=64歳 :

\*代表作「相撲生人形」は「日本書紀」にある野見宿禰と当麻蹶速の力比べに題材を取ったもので、同年の第三回内国勲業博覧会に出品するつもりで制作したが期日に間に合わず、完成後に浅草寺の境内に飾った。これを見たアメリカの収集家フレデリック・スターンが購入し、2年後デトロイト美術館に寄贈・収蔵されていたが、2005年熊本市が購入し、市立博物館に収蔵されている。

日清戦争始・1894=68歳 :

子規句歌革新1898=72歳 :

\*初代亀八改め亀翁に改名。長男の亀二郎が二世亀八を襲名するが、

Bushidou・1899=73歳 :

長男が鹿児島で客死したため、三男が三世を急遽襲名後、

ピアノ国産化・1900=74歳 :

没した。